

# 平成20年3月期決算発表 補足資料

平成20年4月30日  
日本ガイシ株式会社

□はH19/10見直し

	19年3月期		20年3月期		前期比	21年3月期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		見直し	構成比	
売上高合計 <海外売上高合計>	3,201	100	3,620 3,649	100	114	3,150	100	86
単独売上高計 (うち輸出計)	2,228 (762)	100	2,171 (929)	100	97	2,100 (935)	100	97
グループ会社 NET売上高計	973		1,478		152	1,050		71
電力関連事業	752	23	810 825	23	110	820	26	99
単独売上高 (うち輸出)	560 (186)	25	638 (214)	29	114	635 (250)	30	99
グループ会社 NET売上高	192		187		97	185		99
営業利益 (%)	64 (8.5%)		75 87 (10.6%)		136	70 (8.5%)		80
セラミックス事業	1265	40	1,625 1,623	44	128	1,580	50	97
単独売上高 (うち輸出)	802 (364)	36	1,019 (512)	47	127	980 (470)	47	96
グループ会社 NET売上高	463		604		130	600		99
営業利益 (%)	310 (24.5%)		435 438 (27.0%)		141	385 (24.4%)		88
エレクトロニクス事業	744	23	785 797	22	107	750	24	94
単独売上高 (うち輸出)	456 (212)	20	470 (203)	22	103	485 (215)	23	103
グループ会社 NET売上高	288		327		114	265		81
営業利益 (%)	131 (17.6%)		135 135 (16.9%)		103	125 (16.7%)		93
エンジニアリング事業	453	14	430 441	12	97			
単独売上高 (うち輸出)	409 (0)	18	44 (0)	2	11			
グループ会社 NET売上高	44		397		910			
営業利益 (%)	15 (3.2%)		25 32 (7.3%)		221			
セグメント間売上消去	-13		-37			0		
為替レート(円/\$)	116		118			100		
為替レート(円/ER)	147		161			155		
営業利益	520	16.3	670 694	19.0	133	580	18.4	84
単独営業利益	306	13.7	366	16.9	120	295	14.0	81
経常利益	503	15.8	670 693	19.0	138	580	18.4	84
単独経常利益	353	15.8	377	17.4	107	330	15.7	88
当期純利益	294	9.2	445 460	12.6	156	340	10.8	74
単独当期純利益	228	10.2	226	10.4	99	195	9.3	86
研究開発費	122	3.8	130 132	3.6	109	135	4.3	102
単独研究開発費	106	4.7	106	4.9		115	5.5	
設備投資(工事ベース)	260	8.1	270 214	5.9	82	420	13.3	196
単独設備投資	110		87			170		
減価償却費	239	7.5	265 263	7.2	110	280	8.9	107
単独減価償却費	113		109			125		

## 平成20年3月期 連結業績の要点

- 概況  
エンジンリング部門が減収となるも、SiC製DPFをはじめとするディーゼル関連製品の需要増やNAS電池の需要増により4期連続の前期比増収で、過去最高を更新。営業利益・経常利益は5期連続、当期純利益は4期連続となる二桁増益で、各利益とも3期連続で過去最高益を更新。
- 為替影響  
連結：売上58億円、営業利益19億円（前期116円/\$→当期118円/\$、147円/ER→162円/ER）  
単独：売上15億円、営業利益12億円（前期117円/\$→当期116円/\$、148円/ER→161円/ER）
- 事業別業績概況  
電力関連：前期比73億円増収（円安影響1億円）。海外市場で中国・中東向け送・変電用がいしの需要増加。NAS電池も風力発電向けが増加。利益はがいしの収益向上やNAS電池の黒字化により前期比23億円の増益（円安影響軽微）。  
セラミックス：前期比357億円増収（円安影響54億円）。ディーゼル排ガス規制を背景にSiC製DPFを始めとするディーゼル関連製品の需要が増加。自動車用排ガス浄化用触媒担体（以下、ハニカム）も日欧自動車メーカー向け出荷が好調に推移し増収。燃焼装置はPDP用熱処理炉が増加、産業用機器も堅調でそれぞれ増収。利益は増収、生産性の改善に加えて円安もあり128億円の増益（円安影響19億円）。  
エレクトロニクス：前期比53億円増収（円安影響3億円）。ペリウム銅製品は中国市場を中心に需要が増加し、半導体製造装置用セラミックス製品は特に上期の好調に支えられ、それぞれ前期比微増収。カープリンター用の機能部品は、客先の販売方針の変更による物量増等により増収。双信電機はノイズフィルターの増加も実装製品の減少により売上高は概ね前期並み。利益は、前期比微増（円安影響軽微）。  
エンジンリング：前期比12億円の減収。環境装置は厳しい事業環境に変化なく、売上高は前期比減収。低レベル放射性廃棄物処理関連は新設案件もあり前期比増収。利益は環境装置を分社化し費用圧縮にも努めた結果増益。
- ROE 15.3%（前期10.8%）
- 連結の範囲 連結子会社数 54社 → 56社  
持分法適用会社数 2社（前期と同じ）
- 特別利益 関係会社株式売却益 100.5億円計上

配当：期末配当金を普通配当9円から11円と2円増配、中間配当金11円と合わせ22円とする予定。  
(前期比6円増配、6月開催の定時株主総会に付議予定)。

## 平成21年3月期 連結業績見通しの要点

- 前期比減収・減益～エンジンリングのうち環境装置の子会社が合併に伴い連結除外となる影響（売上高△400億円、営業利益△25億円）や、ドル安円高（売上高△157億円、営業利益△82億円）のほか、前期は関係会社株式売却に伴う特別利益100.5億円があったこともあり、前期比減収・減益。  
電力関連：前期比減収。がいしは、国内の送電大型プロジェクトや中国市場の需要増を見込むが、国内送電用避雷装置の計画取付漸減等や円高により減収。NAS電池は海外向けの物量増による増収を見込むも、全体では減収。利益は円高や資材値上がりの影響により前期比減益の見直し。  
セラミックス：前期比減収。自動車関連は、ディーゼル排ガス規制強化を背景としたディーゼル関連製品の需要増を見込むも、米国市場の景気減速による落ち込みが厳しく、円高もあり減収。産業用機器、燃焼装置も前期比減収。利益も品種構成の変化を含む価格下落や円高により前期比減益の見直し。  
エレクトロニクス：前期比減収。ペリウム銅製品は堅調に推移していた中国市場も調整局面に入り、円高もあって減収。半導体製造装置用セラミックス製品も半導体メーカーの設備投資の落ち込みや円高により前期比減収。カープリンター用機能部品や照明製品は堅調に推移し増収、双信電機も微増収を見込むが、全体では前期比減収の見直し。利益は半導体製造装置用セラミックス製品の落ち込みや円高により前期比減益の見直し。
- 為替影響  
連結：売上△157億円、営業利益△82億円（前期118円/\$→当期100円/\$、前期162円/ER→当期155円/ER）  
単独：売上△87億円、営業利益△55億円（前期116円/\$→当期100円/\$、前期161円/ER→当期155円/ER）
- ROE 10.5%（前期比△4.8%）
- 連結の範囲 連結子会社数 56社  
持分法適用会社数 3社（メタウォーター（株）を追加）

配当見込み：減収減益見込みも、中間11円、期末11円の年間22円を維持する予定。

平成20年3月期 決算発表 補足資料(中間決算見通し)

平成20年4月30日  
日本ガイシ株式会社

	19年9月中間期		20年9月中間期		前年 同期比
	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円	%	億円	%	%
<b>売上高合計</b>	<b>1,737</b>	<b>100</b>	<b>1,560</b>	<b>100</b>	<b>90</b>
<海外売上高合計>	<935>		<860>		
単独売上高計	1,094	100	1,020	100	93
(うち輸出計)	(498)		(435)		87
グループ会社 NET売上高計	643		540		84
<b>電力関連事業</b>	<b>379</b>	<b>22</b>	<b>360</b>	<b>23</b>	<b>95</b>
単独売上高	283	26	270	26	96
(うち輸出)	(109)		(100)		92
グループ会社 NET売上高	97		90		93
<b>営業利益 (%)</b>	<b>40</b>	<b>10.6%</b>	<b>20</b>	<b>(5.6%)</b>	<b>50</b>
<b>セラミックス事業</b>	<b>840</b>	<b>48</b>	<b>825</b>	<b>53</b>	<b>98</b>
単独売上高	552	50	505	50	91
(うち輸出)	(284)		(230)		81
グループ会社 NET売上高	287		320		111
<b>営業利益 (%)</b>	<b>236</b>	<b>(28.2%)</b>	<b>215</b>	<b>(26.1%)</b>	<b>91</b>
<b>エレクトロニクス事業</b>	<b>415</b>	<b>24</b>	<b>375</b>	<b>24</b>	<b>90</b>
単独売上高	244	22	245	24	101
(うち輸出)	(105)		(105)		100
グループ会社 NET売上高	171		130		76
<b>営業利益 (%)</b>	<b>81</b>	<b>(19.5%)</b>	<b>65</b>	<b>(17.3%)</b>	<b>81</b>
<b>エンジニアリング事業</b>	<b>118</b>	<b>7</b>			
単独売上高	16	1			
(うち輸出)	(0)				
グループ会社 NET売上高	102				
<b>営業利益 (%)</b>	<b>-9</b>	<b>(-7.4%)</b>			
セグメント間売上消去	-15		0		
為替レート(円/\$)	120		100		
為替レート(円/ER)	160		155		
<b>営業利益</b>	<b>349</b>	<b>20.2</b>	<b>300</b>	<b>19.2</b>	<b>86</b>
単独営業利益	202	18.4	145	14.2	72
<b>経常利益</b>	<b>353</b>	<b>20.3</b>	<b>275</b>	<b>17.6</b>	<b>78</b>
単独経常利益	213	19.5	160	15.7	75
<b>当期純利益</b>	<b>258</b>	<b>14.8</b>	<b>155</b>	<b>9.9</b>	<b>60</b>
単独当期純利益	185	16.9	95	9.3	51
<b>研究開発費</b>	<b>57</b>	<b>3.3</b>	<b>65</b>	<b>4.2</b>	<b>114</b>
単独研究開発費	45	4.1	55	5.4	
<b>設備投資(工事ベース)</b>	<b>107</b>	<b>6.2</b>	<b>230</b>	<b>14.7</b>	<b>214</b>
単独設備投資	44		100		
<b>減価償却費</b>	<b>127</b>	<b>7.3</b>	<b>130</b>	<b>8.3</b>	<b>102</b>
単独減価償却費	53		60		

平成20年9月中間期  
連結業績の要点

エンジニアリングの子会社が  
今期より連結除外。

セラミックスでは、排ガス規制によりディーゼル関連製品の  
需要増を見込むも、米国の景  
気減速により自動車関連製品  
が減少する他、ドル安円高の  
影響もあり減収・減益の見通  
し。

電力関連とエレクトロニクス  
においても需要減やドル安円  
高等の影響で減収・減益とな  
る見込みで、全体では前年同  
期比で大幅な減少となる見通  
し。